

2026年4月28日

全国下水サーベイランス推進協議会と日本下水サーベイランス協会は、国土交通省上下水道審議官に対し、下水サーベイランスの社会実装の推進に向けての提案を実施しました。

令和8年4月28日（火）、全国下水サーベイランス推進協議会と日本下水サーベイランス協会は、令和8年度補正予算および令和9年度概算要求に向け、国土交通省上下水道審議官に対し、下水サーベイランスの社会実装推進に関する共同提案を行いました。

提案には、当協会特別顧問の尾身茂氏（公益財団法人結核予防会理事長）や国立健康危機管理研究機構の責任者らが同行しました。冒頭、尾身氏より「下水サーベイランスは公衆衛生のみならず、国家安全保障の基盤となる重要戦略である」との説明がなされ、続いて両団体より、以下の項目について速やかな実行を要望しました。

1. 成長戦略への位置付け

「日本成長戦略会議」の17の戦略分野の一つ「創薬・先端医療」の主要技術に「感染症対応技術」を掲げ、その具体的技術として「下水サーベイランス技術」を明確に位置付けること

2. 骨太の方針への明記

『骨太の方針2026』において、次なるパンデミックへの備えとして、平時からの「全国下水サーベイランス観測網」の構築と、その社会実装の強力な推進を明記すること

3. 全国実施体制の構築

- 拠点都市200、重点先行都市50を令和8年12月までに決定
- 令和9年度から定期的・継続的な採水・分析を実施

4. 予算の確保と制度化

令和8年度補正予算および令和9年度当初予算において本施策を制度化し、国家安全保障、防衛、国土強靱化の観点から必要な政府予算を安定的に確保すること

- 下水サーベイランス実装事業創設（分析費用：5.2億円/年）
- データプラットフォーム構築・運営（3億円）
- 設備費補助（自動採水器等：1.5億円）

5. 推進体制の整備

内閣感染症危機管理統括庁を中心に、厚生労働省、国土交通省による「推進連携会議」を設置し、三省庁が緊密に連携して下水サーベイランスの社会実装を加速させる体制を構築すること

また、国立健康危機管理研究機構、神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科、東京大学大学院工学系研究科による共同グループからは、以下の骨子を含む政策提案書が提出されました。本書は、下水サーベイランスの標準化および感染症対策の全国・国際展開を掲げています。

1. 下水サーベイランスを「国家的インフラ」として制度化し、感染症の早期検知と対策を全国へ実装することを目指す。下水から得られる微生物学的・化学的データを継続的に分析することで、感染拡大の兆候を迅速に察知。これにより、入院や死亡のリスクを最小限に抑え、医療費削減という高い費用対効果を実現。
2. このデータ活用は公衆衛生にとどまらず、下水道インフラ自体の維持管理にも貢献。管路の腐食予測や老朽化診断にデータを役立てることで、予防保全による設備の長寿命化を強力に推進。
3. これらの取り組みを支えるため、地方衛生研究所、大学、民間企業が密に連携し、スマートシティの都市OSやワンヘルス、さらには国際標準化との連動を図る。産学官の力を結集することで、持続可能な下水道行政を確立し、日本発の革新的なモデルとして世界に貢献していく。

国土交通省上下水道審議官からは、下水サーベイランスの重要性に理解を示された上で、「引き続き皆様と意見交換を重ね、関連省庁とも協議しながら、社会実装に向けた具体的な支援策を検討していきたい」との前向きな回答をいただきました。

[提案先]：

- 石井宏幸 国土交通省 上下水道審議官
- 本田康秀 国土交通省 大臣官房参事官（上下水道技術）

[訪問者]：

- 尾身茂 公益財団法人結核予防会理事長、
一般社団法人日本下水サーベイランス協会特別顧問
- 広瀬栄 前兵庫県養父市長、全国下水サーベイランス推進協議会特別顧問
- 片山浩之 東京大学教授、全国下水サーベイランス推進協議会会長
- 北島正章 東京大学特任教授、全国下水サーベイランス推進協議会理事、
一般社団法人日本下水サーベイランス協会理事
- 脇田隆字 国立健康危機管理研究機構副理事長 / 総合研究開発支援局長
- 四柳宏 国立健康危機管理研究機構理事
- 山田安秀 国立健康危機管理研究機構 総合研究開発支援局 研究管理部長

- 鄭雄一 神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科 研究科長・教授
- 和田義人 神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科 担当部長
- 黒川昭雄 神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科 講師（政策分析・政策立案）
- 小林博幸 一般社団法人日本下水サーベイランス協会副会長
- 谷戸善彦 全国下水サーベイランス推進協議会理事、
一般社団法人日本下水サーベイランス協会副会長



（写真：左から谷戸氏、北島氏、尾身氏、石井上下水道審議官、脇田氏、片山氏、広瀬氏、四柳氏、山田氏）